

令和 8 年度 中津教育事務所管内 第 2 回 通級指導担当者会

令和 8 年 7 月 31 日（金） 中津市立沖代小学校

通級による指導の充実と実践交流

～ 1 学期の取組状況の共有と今後の指導の方向性について ～



1. 実施概要

【日時】 令和 8 年 7 月 31 日（金） 13:30～16:00

【会場】 中津市立沖代小学校 図書室 通級指導教室 他

【参加者】 通級指導教室担当者・管内教育委員会特別支援教育担当者・「個別の指導計画」推進教員 等

【目的】 1 学期の取組状況の振り返り、情報共有、今後の指導体制の充実

2. 本日のプログラム・構成

時間	内容・協議事項
13:30～14:30	(1) 実践交流（図書館） ・ 1 学期の取組状況（個別の指導計画、教材教具等） ・ 各通級担当教員報告 ・ 沖代小学校の通級指導教室見学
14:30～15:30	(2) 情報交流 ・ 河野推進教員、阿部推進教員からの情報共有・講話 ・ 「個別の指導計画」推進教員からの指導のポイント
15:30～16:00	(3) 今後の予定について ・ 定期訪問、担当者会議、打ち合わせ等

3. 本担当者会のポイント

中津管内における通級指導の現状把握と、自校通級・巡回指導における実践上の課題（校内支援、個別の指導計画の活用、子どもの思いの捉え直し等）について協議した内容を取りまとめています。

1 学期の取組状況と実践交流（13:30～14:30）

① A 教諭からの報告・協議

- **教科の指導・巡回通級**：中学校の自立活動、巡回通級の実施状況
- **在籍学級とのすり合わせ**：個別の指導計画、共有の重要性
- **課題**：担任との情報共有の緊密化と、実態把握に基づいた指導内容の充実

ポイント 自立活動の指導がかなり定着してきた一方、周りの教職員の理解と協力体制が引き続き必要。

② B 教諭からの報告・協議

- **時間割・教科配当**：教科の内容をどこまで扱ってよいか。
- **通級と支援学級の違い**：通級はどこまでいけば卒級になるのか。
- **在籍学級との連携**：学級担任や通級担当の見取りから中心課題を見出し、自立活動の流れ図を活用

ポイント 通級で学んだことを在籍学級でどのように生かしているか（発揮できているか）の評価の手だてが重要。

③ C 教諭からの報告・協議

- **通級指導教室の見学**：校内環境整備、教材・教具の配置状況を確認
- **指導の実践**：自立活動を楽しく学び、自分に合った学習方法や課題改善への方略を見出す
- **計画の作成**：年間指導計画および「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の作成・活用

ポイント 在籍学級に行き、課題を見つけ、その子にあった自立活動を編成する。

情報交流：指導の充実に向けて（14:30～15:30）

河野推進教員からの情報提供

- 各学校における個別の指導計画作成の進捗状況と課題の共有
- 通常学級との連携強化および指導上の工夫点について
- 校内の支援体制づくり（どの教科、どの程度、在籍学級との連携、自立活動の流れ図の理解と活用）
- 通級による指導の実践…自立活動を楽しみ、自分に合った学習方法や課題改善への方略を見出し、身につけているか。
- その他の課題…通級への職員の理解と協力。通級指導教室への児童・生徒理解

阿部推進教員からの情報提供

- 「個別の指導計画」の質の向上：目標はハードルを下げ達成可能なものに設定。手立ては学級経営・授業改善の視点から具体的に記載。
- 子ども観の問い直し：すべての子どもは有能な学び手。子どもがうまく学べないとしたら、その原因は子どもではなく学校や教師の側にあるという視点の転換。
- 「思い」の捉え直し：「キャリアには『up』も『down』もない」。子どもの「いま」の思いや「なりたい」「ありたい」を把握し、支えていく。

教師の思いと子どもの思いの転換

【視点の転換】

子どもを変えようとする前に、子どもの「思い」を理解し、教師が何を変えたらそうなるのか視点を
変える。



- ・ どうしたら座って話が聞ける・聞きたくなるのか？
- ・ どうしたら片づけられる・片づけたくなるのか？
- ・ どうしたら学習に参加できる・したくなるのか？

今後の予定（15:30～16:00）

項目	内容・目安
通級指導教室への定期訪問	目安：学期に1回以上 （垣根なき教育実践交流後）
通級指導教室担当者会議	垣根なき教育実践交流後の振り返りと共通理解
打ち合わせ等	「個別の指導計画」推進教員との綿密な打ち合わせの実施

【1学期のまとめと2学期へ向けて】

本年度は在籍学級の授業を参観し、通級指導の内容が生かされて児童の困り・つまづき等の改善・克服に繋がっているかを確認する。

【中津教育事務所管内】通級による指導の現状と課題

成果：3市の担当者が集まり、通級による指導の実践を協議することができる。

課題：発達障害の特性に係る自立活動の授業を構想していくこと。

通級指導教室で行う自立活動の指導が在籍学級で般化されにくいこと。

方向性：担当者会と垣根なき教育実践交流を通して、

- ① 自身の在籍学級で解決したい課題を見つけ、
- ② 在籍学級担任との連携を密にし、
- ③ 生活面のみならず、各教科に伴う困難さの解消につながる実践を検証していく。